

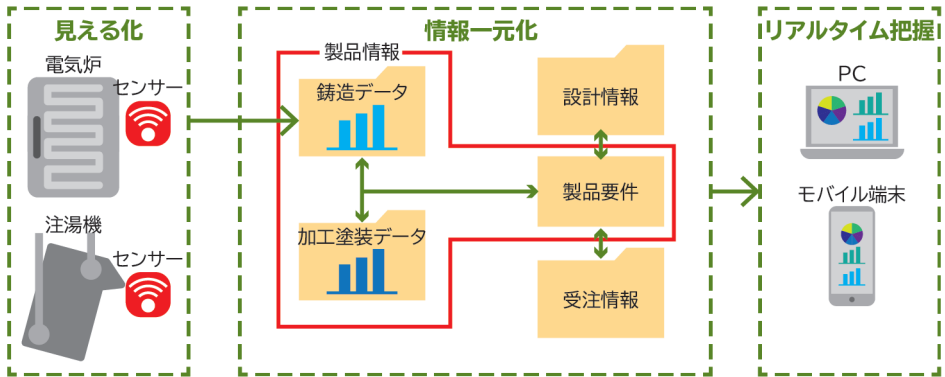


IoTの活用はデータの見える化から

IoTの活用は、省エネ、コスト削減、利便性向上、業務効率化、品質向上、新たなビジネス創出等につながります。その第一歩は「データの見える化」です。

事例 自らの創意工夫で鋳物工場をIoT化

IoT化前の鋳造工程は熟練工の経験に基づく作業でしたが、工程の見える化によりデータ管理が可能に。問題点の把握と対策が講じやすくなり品質が向上しました。工程に合わせた自動化で電気代を含む電気炉コストと作業コストを削減できました。



鋳造工程に続き加工工程の設備更新により、さらなる電力コスト削減と作業性向上を計画中です。人の進化と深化の中心にIoT構成要件を柔軟に組み替えながらナレッジマネジメントを推し進めたいと思います。

長島鋳物株式会社 様 (埼玉県川口市)

1945年の創業以来、鋳物の町川口でマンホール蓋を製造。中小企業庁依頼の記念盾なども製作。長年培ってきた高度な鋳造技術と最新鋭の鋳造機器を融合し、高品質でバリエーション豊かな製品を供給。

